

エリア ウェブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2737
 FAX 0553-20-2733

回覧・配布をお願いします。増し刷り配布はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。
<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>
 ご意見・ご感想はこちらまで Email : saegusa-aszn@pref.yamanashi.lg.jp

「ノミ（鑿）とツチ（槌）で掘り出すまでだ」

峡東教育事務所長 内藤 義仁

「運慶が護国寺の山門で仁王を刻んでいるという評判・・・」という書き出しで、夏目漱石の作品に「夢十夜」(第六夜)があります。運慶とは鎌倉時代の有名な仏師(仏像を作る人)です。

運慶が仏像を上手に彫るのを主人公が見て、『よくああ無造作にノミを使って思うような眉や鼻が出来るものだな。』と言うと、一緒に見物していたある男が、『なに、あれは眉や鼻をノミで作るんじゃない。あの通りの眉や鼻が木の中に埋まっているのを、ノミと槌の力で掘り出すまでだ。まるで土の中から石を掘り出すようなものだから決して間違はずはない。』と言いました。

私は、この男のこの言葉に『なるほど、専門家(プロ)の目とは、仕事が見えるため、素晴らしい仕事ができる。一般の人には当然わからないわけだ。』と思いました。様々な専門家(プロ)の人たちが、仕事をしたとき、私たちは、「すごい」などと言って思わず感心してしまいます。それは、「見えるからできる」ということだと思います。

さて、作品の解釈とはやや離れますが、運慶のような歴史に残るようなプロの話ではなく、もっと身近かなプロの話にしたいと思います。

私たちは、それぞれ子育てのプロ、教育のプロですが、本当に子どもたちの心や行動の様子など、子どもの姿が「見えている」のでしょうか。生まれたばかりの子を持つ母親は、子どもの泣き声で子どもが何を望んでいるか、どうして欲しいかわかると言われます。教師は、学級の子どもたち、一人ひとりの実態をよく知っていると言われていきます。

私も教育にたずさわる人間ですので、いつも、子どもたちの良さをしっかり見て、いっしょに喜んだり、努力してる場所を見て励ましたり、問題があれば解決できるようにしたいと思っています。しかし、理想のプロとして「見える」ようになるには、一朝一夕ではなれませんし、努力が必要です。そこで私は、いつも次のことに心がけ、手だてを見つけています。

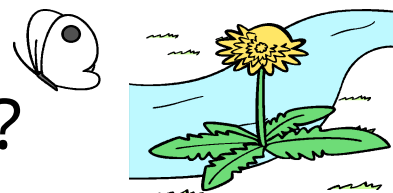
第一に、目を大きく開き、耳をダンボにして目から耳から、子どもの行動や発言、子どもを取り巻く人々の発言などから、その子の姿を現す事実をより多く集めることにしています。忙しい時にはより集中して、また、感情が高ぶるときは、より落ち着いてこれに心がけます。



第二は、目を肥やすこと、つまり子育てや教育についての学習を深めることです。事前の知識があると対応に幅が生まれます。

学習を深める方法は様々ですが、例えば、峡東教育事務所では、子育てに関わる様々な業務をしています。この情報誌などを参考に、講演会などにぜひご参加して、目を肥やしてみるのも良いのではないかと思います。

「エリアウェップ」って どんな情報誌なの？



時々こんな質問をされます。
一言で説明するのは難しいのですが、整理すると次のようなことです。

「エリアウェップ」の目的

活力ある学校づくりの推進や望ましい生涯学習社会の構築に役立てる。
子育てを中心とした様々な教育情報を広め、峡東地域の教育力の向上のために役立てる。
各情報の交流を通して、家庭・学校・地域の連携強化に役立てる。

「エリアウェップ」の内容

地域・学校・家庭での子育て
保・幼・小・中・高・特・大の連携や学校教育について
乳幼児からお年寄りまでの生涯学習や地域の教育情報など。

「エリアウェップ」の配布先

県下，峡東地区の214ヶ所
学校：小・中・高・特・大
幼稚園，保育所，保育園
児童センター，学童保育クラブ
県教育庁各課，関係機関
市教育委員会，福祉事務所，保健所

毎月1400部を作成し配布しています。
保育所・園や学校などで増し刷りをして各家庭に配布しています。

「エリアウェップ」の情報

いろいろな情報源をもとにしています。
園長さん，学校の先生，子育てサークルや支援団体など，地域の方々の声を聞かせていただきました。取材を通して具体的な生の情報をエリアウェップに載せられたらと考えています。

毎月1回の発行を基本にしています。できるだけタイムリーな情報を提供したいと考えていますので「臨時増刊号」を発行する場合があります。

「わが地域ではこんなことをしてるよ。」という耳寄りな情報がありましたら、いつでもお寄せください。できる限り掲載したいと思います。



スタッフの一員として

4月12日(土)，第4回笛吹市いちのみや桃の里マラソン大会が、「一宮桃の里グラウンド」をメイン会場に開催され約4000人の参加者でにぎわいました。

この大会に、一宮中学3年生女子57名が運営補助員として参加しました。生徒は、午前7:00に集合し、仕事内容と分担を確認した後、直ちに仕事に取りかかりました。8:30の開会式前後になると、受付のテント付近で、「おはようございます。」「がんばってください。」と対応する、生徒たちの元気な声が響き渡り、大会の雰囲気盛り上げていました。

一方、受付テント内では、市の職員や地域の

ボランティアの人たちが中学生の活躍を前面に押し出すように、上手に連携を図りながら裏方をつとめていたのが印象的でした。

地域の人たちから頼りにされているという意識が、生徒たちの動きをいっそうきびきびとしたものに行っているように感じられました。



新しい生活への適応支援を

4月に入園，入学，進級と新たな活動が一斉にスタートする季節です。

新しい生活を始めるにあたって，服装や持ち物，新しい机や椅子を準備しながら，子どもたちに対する周囲の期待が一挙に高まっています。

しかし，新生活への準備は物品だけではありません。新しい生活が子どもたちの心や身体に与える影響を的確にとらえ，必要に応じて適切に支援をしていくことが大切です。

そこで思い出すのは，9年前，今春中学3年生になる私の娘が小学校に入学した時のことです。

小学生になったという喜びに溢れ，毎朝，真新しいランドセルを背負って元気に登校するものと思っていました。

ところが，保育園に通っていた頃とは違って「行って来ます。」の声も小さく，喜び勇んで学校へ行くという風には見えません。おじいちゃん，おばあちゃんは心配顔で，毎朝孫の様子をうかがい，なだめたり励ましたりしてくれました。妻と交代で登校に付き添う日々が何日続いたことでしょうか。

その時私は，今更ながら，新しい生活を始めようとする子どもの不安と緊張がいかに大きなものであるかを，新生活に戸惑う我が子の姿を目のあたりにして実感しました。

このような新生活に対する戸惑いと不安は程度の差こそあれ，この時期，どの子どもたちにも起きていると思われれます。

幼稚園，保育園，小・中学校，高校への進学や，進級によるクラス替えをした子どもたちも含めて，さまざまな変化が子どもたちの心と身体に影響を与えていることでしょう。

長い人生経験を持っている大人たちは何が自分の生活を変化させているかが分析できますし，どうすればその影響を軽減させることができるかという術を経験的に身に付けています。

しかし，何がどのように変化したのかを整理できず，また，その変化にどのように対処したらいいのかがわからない子どもたちは，戸惑いや緊張が不安となって表れてくるのだと思います。

生活の変化から生じる子どもたちの戸惑いや不安について，周囲の大人は理解を深めるとともに，必要に応じて適応力を高めるための支援を行う必要があると思うのです。

適応支援の具体

- (1)新しい生活に入る子どもたちの戸惑いや不安な気持ちを理解しようとする姿勢を持つ。
- (2)子どもの心や身体の変化に気付く。
(顔色や表情・食生活の変化，口数，爪噛み，腹痛，発熱 等)
- (3)健全な生活リズムを維持する。
『早寝，早起き，朝ごはん』
- (4)あいさつやコミュニケーションを大切に，子どもたちの孤独感を防ぐ。
- (5)「できないこと」よりも「できたこと」を認めるようにする。

新年度を契機に，励まみや期待が子どもをよりいっそう育てるといってもありますが，新しい生活に適応できるように手助けするという気持ちを持って子どもたちに接したいものです。

「小1プロブレム」や「中1ギャップ」などと言われ，校種のつながりが難しくなっている状況が指摘される中ではありますが，緊張や不安を乗り越えて，新生活にチャレンジしていく気力と体力を持った子どもに育っていくことを願っています。



新しい地域教育支援スタッフです。

平成20年度の峡東教育事務所の地域教育支援スタッフを紹介します。
地域教育支援スタッフは、「地域教育推進担当」、「社会教育担当」、「生涯スポーツ担当」が共働して、峡東地域の地域教育推進のために努力しております。
昨年度同様のご支援、ご協力をお願いします。

地域教育支援スタッフ	雨宮政文・中林睦彦・三枝 孝・望月栄一・中村達也・精進重仁 青柳 修・雨宮幹雄（計8名）
主な業務	<ul style="list-style-type: none">・学校，家庭，地域社会の連携推進（講演会，連携セミナー等の開催）・地域教育啓発活動・家庭教育に推進に関すること・地域教育情報誌（エリアウェブ）の発行・新しい学校づくり人づくり（高校入試等）・教育相談に関すること・成人教育の推進（山梨ことぶき勸学院など）・青少年教育の推進（やまなし少年海洋道中，実賞など）・社会教育の推進・生涯学習の振興・生涯スポーツの振興（総合型地域スポーツクラブ等）・学校体育への支援

「エリアウェブ」を今後ともよろしくお願いします。

昨年度は、情報誌「エリアウェブ」に対し、多くの感想・御意見などをお寄せいただき、ありがとうございました。

より地域に密着した情報誌になるように、今後とも努力していきたくと考えますので、よろしくをお願いします。

なお、この情報誌はHPにも掲載されています。URLは表紙の題字の下にあります。また「検索」で『峡東教育事務所 エリアウェブ』でも閲覧できます。（カラー版でご覧いただけます）

情報誌を担当する3名です。

雨宮 政文

昨年度は大変お世話になりました。

多くの方から寄せられる声に力をいただきながら、少しでも地域教育の推進が図れるようにがんばります。特に今年度は、地域連携活動に力を入れたいと思っています。宜しくをお願いします。

中林 睦彦

2年目になります、主に学校・家庭・地域社会の連携の推進（子育て講演会・セミナーの開催等）、学校間の連携、新しい学校（高校）づくり人づくり等を担当します。地域教育推進のため精一杯がんばります。

三枝 孝

この4月に笛吹市立浅川中学校から転任してきました。地域教育推進、情報誌を担当します。皆様の子育てや生活に少しでもお役に立てればと思います。

地域の情報や、情報誌に対するご意見など、たくさんお寄せください。